



2019/01/09

当社省合金型二相ステンレス鋼 NSSC®2120 が 内航船 2 隻に初採用

新日鐵住金ステンレス株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：木下洋）の省合金型二相ステンレス鋼 NSSC®2120 が、国内で初めて船舶用として、佐々木造船株式会社様ならびに伯方造船株式会社様が建造する内航船に採用されました。

近年世界的に二相ステンレス鋼 (ASTM A240M S31803、S32205) のケミカルタンカーへの適用が進んでいる中、今まで国内においては二相鋼ケミカルタンカーの建造実績はありませんでした。

当社は、省合金型二相ステンレス鋼 NSSC®2120(21Cr-2Ni-N、ASTM A240M S82122) が、2011 年 11 月に一般財団法人日本海事協会殿の製造方法の承認を受けたことで、耐食性と強度を併せ持つ NSSC®2120 を内航船や近海船に使用される SUS304 の代替材として推奨してまいりました。

その結果、佐々木造船株式会社様と伯方造船株式会社様に NSSC®2120 の高いパフォーマンスと優れた経済性をご評価いただき、今回内航船 (NK 船級) のケミカルタンカーおよび油タンカーに採用されました。

優れた特性を有する NSSC®2120 は、今後内航船以外にも大・中型ケミカルタンカーや大型プロダクト船（石油精製品輸送船）、タンカーの艀装品等への適用が期待されています。更には海水淡水化プラントや土木・建設（国土交通省新技術情報提供システム「NETIS」登録番号 :QS-120093-A）など、造船以外の分野においても幅広く適用が拡大されつつあります。

当社は、今後も省合金型二相ステンレス鋼の普及を通じ、日本のモノ造り競争力の向上への貢献を目指してまいります。

(NSSC®2120 の主な特長)

- ・ SUS304 に対し約 2 倍の強度 (0.2% 耐力) があり、軽量化設計が可能
- ・ Ni や Mo の含有量が低く (Ni 2% で SUS304 の 1/4)、経済性と価格安定性に優れる
- ・ 積載可能なケミカルカーゴは SUS304 と同等
- ・ 海水などの塩化物に対する耐孔食性は SUS304 と同等
- ・ 硫酸などの酸に対する耐食性は SUS304 より良好
- ・ 広幅のクラッドに使用可能で、厚肉ソリッドに対しコストメリットあり
- ・ 溶接性が良好であり、炭酸ガスアーク溶接の他にサブマージアーク溶接も可能
(溶接材料は SUS329J3L を使用)



(物件概要 1)

造船会社：佐々木造船株式会社

適用船：499GT 型内航ケミカルタンカー (2013年1月17日進水済み)

鋼種、数量：NSSC®2120 116ト (ソリッド、クラッドの合計)



(物件概要 2)

造船会社：伯方造船株式会社

適用船：999GT 型内航油タンカー (2013年1月17日進水済み)

鋼種、数量：NSSC®2120 171ト (ソリッド、クラッドの合計)



本件に関するお問い合わせ先：03-3276-4922 (厚板営業部)